



青森総合 卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3
URL <https://www.tonyamachi.com> E-mail info@tonyamachi.com

☎017-738-4711 FAX017-738-7323
発行/2025年11月30日



(株)技研



和田ゴム販売(株)



エイ・スイーサービス(株)



大青工業(株)



表彰式



(有)桂工業

「法律・行動規範編」では、労働契約法・労働基準法など基礎法令のポイントや、時代に合わせた就業規則の整備、サービス規律の明確化の重要性について解説。「ハラスメント・情報リテラシー編」では、パ

合員企業から延べ38名が参加した。全国卸商業団地協同組合連合会との共催で、講師は(株)ビジネスブレインの佐藤代表が務めた。

組合では10月6日と11月10日の2回にわたりコンプライアンスセミナーを開催し、組

合員企業から延べ38名が参加した。全国卸商業団地協同組合連合会との共催で、講師は(株)ビジネスブレインの佐藤代表が務めた。

アンスセミナーを開催し、組合員企業から延べ38名が参加した。全国卸商業団地協同組合連合会との共催で、講師は(株)ビジネスブレインの佐藤代表が務めた。

アンスセミナーを開催し、組合員企業から延べ38名が参加した。全国卸商業団地協同組合連合会との共催で、講師は(株)ビジネスブレインの佐藤代表が務めた。

組合では景観事業20周年を記念し、景観整備に積極的に取り組む組合員を表彰する「問屋町花と緑のコンクール」を開催した。

同コンクールには、自社敷地内の緑地管理や花壇整備などに取り組む20社から応募があり、問屋町内の景観整備も

14日(火)には問屋町会館で

厳正なる審査の結果、和田ゴム販売(株)、(株)技研、大青工業(株)、エイ・スイーサービス(株)、(有)桂工業の5社が優秀賞、15社が功労賞に選ばれた。10月

14日(火)には問屋町会館で

表彰式が行われ、優秀賞5社には賞状とオリジナルプラン

ACE AOMORIが行うランティア活動「夏泊半島大島海洋ごみ拾い活動」に参加するイベントを10月12日(日)に開催した。同イベントには組合員及びその家族ら28名が参加した。

組合ではSDGs推進活動の一環として、BLUE PEACE AOMORIが行うランティア活動「夏泊半島大島海洋ごみ拾い活動」に参加するイベントを10月12日(日)に開催した。同イベントには組合員及びその家族ら28名が

おしゃれなジヨウロが鷺尾企画情報委員長より贈られた。

20周年を迎えた景観事業では、今後も問屋町内の景観美化緑化への意識向上に向けた取り組みを推進していく。

景観事業20周年記念事業 問屋町花と緑のコンクールを開催

夏泊半島大島で
海洋ごみ拾い活動を実施



コンプライアンスセミナー

ワハラ6類型や指導との違い、情報の見極め方やSNS発信のリスクなど、職場で求められる実務知識が紹介され、コンプライアンスへの理解を深めた。

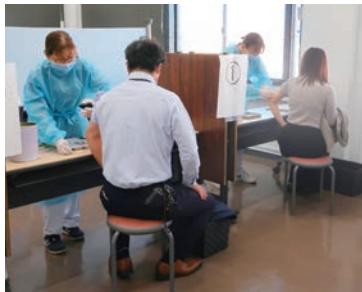


海洋ごみ拾い活動

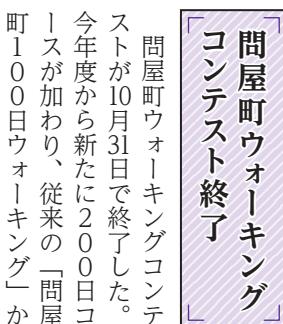
第5回理事会



集団健康診断



インフルエンザ予防接種



第7回問屋町ウォーキングコンテスト結果

200日コース

順位	会社名	チーム名	総歩行数	1人あたり 1日平均 歩行数
優勝	(株)アビイ	てくてくトリオ	7,800,640	13,001
準優勝	(株)アビイ	アビモンGO!	6,349,391	10,582
第3位	アーモン開発株	RAB開発A	5,338,280	8,897

100日コース

順位	会社名	チーム名	総歩行数	1人あたり 1日平均 歩行数
優勝	(株)メディセオ	ねこさん	6,570,798	21,903
準優勝	(株)メディセオ	アースラ	5,902,482	19,675
第3位	株金竹成家	成家十和田A	4,698,647	15,662

健康事業で組合員をサポート
健康診断・インフル予防接種

組合員の脱退及び跡地取得並びに跡地取得費の借入について

2025年度第6回理事会の日程等について

が10月28日(火)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは問屋町花と緑のコンクールの実施結果などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。

案件一・組合員の脱退及び跡地取得並びに跡地取得費の借入について

案件二・物流施設改修費の借入について

案件三・新年会の開催について

案件四・2025年度第6回理事会の日程等について

組合員企業のDX取組事例などについて学ぶ

最後に組合員の(株)マツダ

ンフィニ青森が、同社のDX取組事例について話した。同

社の大川部長は「DXの取り組みに必要なことは、①専門

家へ相談する②経営課題を抽出する(ありたい姿と現状の

た。

最後に組合員の(株)マツダ

ンフィニ青森が、同社のDX取組事例について話した。同

社の大川部長は「DXの取り組みに必要なことは、①専門

家へ相談する②経営課題を抽出する(ありたい姿と現状の

た。

た。</p

今年度の合同清掃終了

今年度最後の問屋町合同清掃が10月9日（木）に開催され、組合員及び関連企業従業員256名が参加した。



合同清掃

團地企業訪問

青森カバイハツメントの芦川社長にお話を伺つた。
同社は、東北開発(株)の青森県内におけるセメント、生コンクリート(以下、生コン)の販売会社として昭和43年3月に、八戸市に設立。昭和60年7月に本社を第二問屋町に移転した。主な事業はUBE三菱セメントの特約店として県内全域でセメント、生コン、地盤改良材等の建設資材の販売を行つてゐる。
「当社は、青森県内のダム工事や原子力発電所工事などの大型公共工事や国家プロジェクト工事などに建設資材を

国内需要の比率であり、それ以降はほぼ右肩下がりでピーク時の3分の1程度まで需要が落ち込んでいる状態となつております。現在は今抱えている現業をしっかりと地に足をついて、ことを第一に足度向上を目指します。たつております長い青森を大切に



(株)青森カイハツセメント
代表取締役社長
古川 道弘 氏

今回の団地企業訪問は、(株)青森カイハツセメントの古川社長と6話ご同様。

供給することで地域発展に貢献してお
り、現在建設中の駒込ダムの付帯工事
にも材料を供給し
ています。ただ、業界で見れば
国内需要のピークは1990年
あたり、それ

氏は、問屋町の印象や今後の目標について尋ねると、「問屋町は様々な業種の企業が集まつておおり、異業種交流が他と比べて非常に活発なところや、各社

青森交通安全協会問屋町支部は、11月4日（火）に第4回問屋町交通安全全街頭指導を開催し、69名が参加した。今年度最後の活動は、事故多発地点の青森中央インター（エンジ前）交差点で実施。のぼり旗などで安全運転とシートベルト着用を呼び掛けた。今年度の街頭指導は5月、6月、9月、10月の第4火曜日に開催され、全4回で327名が参加した。

青森中央IC前で交通安全活動 青森交通安全協会問屋町支部



交通安全街頭指導

障害者雇用を学ぶ 青森高等技術専門校とセミナ

10月15日（水）に問屋町会館で障害者雇用促進セミナーが開催され、組合員ら19名が参加した。はじめに、就労移行支援事



障害者雇用促進セミナー

冬はスキーが趣味で、今年は仙台でゴルフをしました際にホーリンワーンを達成しました。スキーは岩木山百沢スキー場によく行くのですが、今年はシーズンパスを購入して10回ほど行きました。また、スポーツ全般の試合観戦も好きで、ラグビーやアメフト、バスケなどの球技の観戦をよくしています。好きな言葉は「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」となりますが、皆が一つの目標に向かってともに励むという意味も込めて社員によく使っています」と笑顔で答えた。

A photograph of a classroom or lecture hall. A man in a suit stands at a podium on a stage, speaking to an audience. The audience consists of several people seated at desks, facing the speaker. A large screen on a stand to the right of the speaker displays a video of a person in a field. The room has a modern design with dark walls and a polished floor.

編集後記

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS with Riviera Engineering

